

令和4年7月20日

生徒の皆さんへ

練馬区立開進第二中学校
校長 牧野 英一

夏休みに向けて

1 1学期を振り返って

今年度、開進第二中学校では、「開二行事の復興」をスローガンとして皆さんと力を合わせて、運動会、生徒会活動、部活動などを盛り上げてきました。7月の生徒朝会の際に全員で見た「プロモーションビデオ」で再確認することができました。

それでは、皆さんが1学期に学習面と活動面で「一番力を入れたこと」は、何ですか。

今一度、頭の中でイメージしてください。次に、「一番力を入れたこと」を夏休や2学期に、どのような場面で具体的な行動に結び付けるかイメージしてください。

そして、イメージしたことをぜひ、文字として目に見えるように表現してください。目に見える形にすることが具体的な行動に結び付ける第一歩だと思います。

私からは、「先手必勝のあいさつ」の時間、場所、場面に応じた使い分け、「授業中の姿勢」がなぜ、大切なのかなどについて話をしましたので、改めて確認してみてください。

2 夏休みの意味

夏休みは約40日間ありますので、3年間で約120日間になります。この約120日間の夏休み中学生が成長する上で、とても大きな意味をもつと考えています。なぜ、意味をもつと思いますか。

これは私の考えですが、夏休みなどの長期間の休み中は自分で考えて行動する機会が、学期中に比べて圧倒的に多くなるからです。そして、学校生活とは異なり学習面だけでなく、自分の趣味など、自分の「一番力を入れたいこと」を自由に選択して取り組むことができ、その結果を自分で受け取ることができます。

それではどのようにしたら、自分にとって有益な夏休みを過ごすことができるでしょうか。私は第1に、何のために「一番力をいれるのか。」「目的」を明確にすることだと思います。そして第2に、「力を入れる内容」を具体的にすることが重要だと思います。それから第3に40日間の中で、「どのような予定」で実行していくのか、目に見える形にしていきます。

「目的、内容、予定」少なくとも、この3つを明確にすることで、自分で考えて判断し、行動に移す力が倍増すると思いますので、試してみてください。

3 安全・安心な夏休みの過ごし方

このように夏休みは、とても意味のある期間です。一方で、部活動をはじめ皆さんの行動時間や範囲が広がりますので、熱中症や交通事故の未然防止、不審者への対応など、安全・安心に過ごすための注意が必要になります。

まず熱中症の予防ですが、前回お話したように、熱中症警戒アラートに注意し必要がない時はお互いに声をかけてマスクを外してください。そして、自転車に乗りスピードを出すと、危険度が著しく高くなりますので、十分に注意して道路に飛び出さないでください。詳しくは、本日、配布した交通事故防止に向けた取り組みについて通知を参考にしてください。

また、本日、児童生徒に対する性暴力防止について、生徒が第三者相談窓口へ直接電話やメールで相談したり、直接郵送で相談したりできる相談シートを配布しました。不審者への対応を含めて活用してください。

それでは、自分で考えて判断し、行動に移して充実した夏休みを過ごしてください。